

現地農業情報（沖永良部島・与論島）令和7年3月

（１）与論島でトルコギキョウ安定生産に向けて

3月4日、JAあまみ与論事業本部で第2回与論地域トルコギキョウ生産振興検討会が開催され、生産者及び関係機関の16人が参加しました。検討会では、令和6年度の活動実績が報告され、与論島での自家育苗による現地実証の結果に基づき、種子冷蔵のみで栽培可能な2品種が選定されました。さらに、来年度の活動計画として、土壌病害対策の一環として、低エタノール土壌還元消毒による現地実証計画が説明されました。今後もトルコギキョウの生産量増加を目指し、農業普及課は継続的に支援します。



（２）可給態窒素を活用した土づくりを学ぶ

2月27日、与論町中央公民館で可給態窒素簡易測定研修会が開催され、野菜・果樹・花き・畜産・さとうきび農家や関係者33人が出席しました。研修会では、可給態窒素の概要説明の後、5種類の試料で簡易測定法の演習を行い、測定値の土づくり・施肥窒素量への活用について学びました。研修会の最後には与論町土壌のサンプルも測定し、参加者は数値化できる可給態窒素に興味を示していました。今後は可給態窒素の分析体制を町で整備して土づくりや適正施肥を更に進めていく予定です。